



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマザワ

コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博

TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	69,061	0.1	1,813	△8.0	1,833	△7.6	791	△18.7
22年3月期第3四半期	69,015	△0.9	1,971	3.1	1,984	2.8	973	28.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	72.74	72.71
22年3月期第3四半期	89.48	89.46

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	43,748	26,374	60.3	2,422.91
22年3月期	39,681	25,865	65.2	2,376.62

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 26,367百万円 22年3月期 25,861百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
23年3月期	—	13.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	13.50	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	0.4	2,300	1.2	2,350	1.9	950	△21.4	87.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 10,960,825株 22年3月期 10,960,825株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 78,432株 22年3月期 79,058株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,882,226株 22年3月期3Q 10,881,960株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(第3四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部業種においては政府の需要喚起政策等により、企業業績が改善されつつあるものの、個人消費においてはデフレの進行や円高による輸出産業の業績不安などから回復とは程遠く、非常に厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、猛暑による特需、消費の喚起はみられたものの、価格やサービスでの企業間競争や店舗数の増加による競合の激化など、依然として厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け、『現場第一主義 選択と集中』を本年のスローガンに掲げ、全社一丸となって各施策の実行・検証を行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の新規出店といたしまして、平成22年4月に宮城県塩釜市に塩釜中の島店（ドラッグ併設）を、平成22年12月に宮城県白石市に白石東店を開店し、スーパーマーケットは山形県内43店舗、宮城県内19店舗の合計62店舗となりました。更に、既存店の強化といたしまして、平成22年10月に山形県山形市のあさひ町店を旧店舗の隣接地に建替えいたしました。

販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業におきましては引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行ないました。また、毎日午後2回タイムサービスを全店舗で実施し販売を強化してまいりました。野菜や日配品を中心に数量を限定し、価格を通常より大幅に下げて販売し好評を得ております。更に「安さに挑戦値下げしました」と題し、利用頻度の高い商品500品目において通常価格を下げて販売を行いました。顧客サービスの向上の取り組みとして、クレジットカードによるレジ精算を一部店舗において開始いたしました。

商品管理面におきましては、在庫削減に取り組んでまいりました。特に後方の在庫に関しては、保管什器の使用台数に上限を設け、一定数以上にならないよう目に見える形で管理してまいりました。

人材教育面におきましては、店長を対象に外部の講師による研修会や商品知識、売場作りの向上のための勉強会を開催、副店長につきましては、食品スーパーマーケットの基本である生鮮部門の技術習得を目的として水産、総菜部門の実務研修を行うなど人材育成のための教育・研修を実施いたしました。

また、お客様のご意見を直接聴きサービスレベルの向上に努めることを目的に、お客様モニター会議を各地域で開催し、そこでの貴重なご意見をもとに改善に努めました。

地域貢献活動といたしましては、各取引先の協力のもと、地域の子供たちと果物や野菜の収穫体験などを開催する事で、食育活動を行ってまいりました。

これらの取り組みを行った結果、徐々にではありますが、客数が増加し売上高が回復してまいりました。しかしながら売上総利益率は価格競争等により低下いたしました。一方、販売費及び一般管理費につきましては、効率的作業による生産性向上の取り組みにより人件費が減少、また、販売費を抑制したことにより、減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は690億61百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は18億13百万円（同8.0%減）、経常利益は18億33百万円（同7.6%減）となりました。四半期純利益に関しましては、「資産除去債務に関する会計基準」に基づき特別損失4億51百万円を計上したことにより、7億91百万円（同18.7%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は437億48百万円となり、前連結会計年度末に比較し、40億66百万円の増加となりました。

資産の部においては、建設仮勘定の減少、土地の売却による減少等がありましたが、年末年始の繁忙期に伴う現金及び預金、商品及び製品の増加、また、会計基準の変更による資産除去債務の計上及び新店出店に伴う建物及び構築物、リース資産の増加等となりました。

負債の部においては、短期借入金、賞与引当金の減少等がありましたが、商品仕入に伴う買掛金の増加、新店出店等に係る未払金の増加、また、長期借入金の新規借入及び資産除去債務の計上による固定負債の増加等となりました。

なお、純資産は263億円74百万円となり、自己資本比率は60.3%となっております。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は68億85百万円（前年同四半期56億85百万円）となり、前連結会計年度末と比較して31億72百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは47億40百万円の収入（同38億17百万円の収入）となりました。これは主に、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等により税金等調整前四半期純利益が14億40百万円となったものの、仕入債務の増加、法人税等の支払額の減少等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは5億24百万円の支出（同14億10百万円の支出）となりました。これは主に、土地の売却による収入等があったものの、新店出店による有形固定資産の取得による支出及びその他の無形固定資産の取得による支出、敷金の支払等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは10億43百万円の支出（同6億1百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入等があったものの、短期借入金の減少、配当金の支出及びファイナンス・リース債務の返済による支出等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日公表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う会計基準の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ29,908千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、481,736千円減少しております。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,155,404	3,982,659
受取手形及び売掛金	605,974	538,651
商品及び製品	3,965,865	3,468,898
仕掛品	637	664
原材料及び貯蔵品	102,048	73,871
その他	1,111,101	1,281,287
貸倒引当金	—	△4,767
流動資産合計	12,941,031	9,341,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,828,559	11,569,951
土地	13,358,359	13,508,424
その他(純額)	1,389,408	1,523,244
有形固定資産合計	26,576,327	26,601,620
無形固定資産	1,215,328	984,272
投資その他の資産	3,015,436	2,753,995
固定資産合計	30,807,093	30,339,887
資産合計	43,748,124	39,681,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,083,007	5,467,561
短期借入金	1,000,000	1,720,000
未払法人税等	411,650	286,552
賞与引当金	112,804	414,300
役員賞与引当金	17,640	16,000
ポイント引当金	457,054	391,394
商品券回収損失引当金	48,748	62,209
その他	3,966,363	3,304,007
流動負債合計	14,097,268	11,662,025
固定負債		
長期借入金	200,000	—
退職給付引当金	454,696	442,747
資産除去債務	753,622	—
その他	1,868,442	1,710,447
固定負債合計	3,276,761	2,153,195
負債合計	17,374,029	13,815,220

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,191	2,205,087
利益剰余金	21,899,421	21,401,677
自己株式	△89,330	△90,030
株主資本合計	26,404,000	25,905,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36,928	△43,668
評価・換算差額等合計	△36,928	△43,668
新株予約権	7,022	4,149
純資産合計	26,374,095	25,865,933
負債純資産合計	43,748,124	39,681,154

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	69,015,082	69,061,506
売上原価	49,526,099	49,790,536
売上総利益	19,488,982	19,270,970
販売費及び一般管理費		
給料	6,387,832	6,303,374
賞与引当金繰入額	101,839	104,121
役員賞与引当金繰入額	17,865	17,640
退職給付費用	77,004	74,284
役員退職慰労引当金繰入額	4,520	—
ポイント引当金繰入額	424,979	457,054
減価償却費	1,038,866	1,166,909
その他	9,464,841	9,333,893
販売費及び一般管理費合計	17,517,748	17,457,277
営業利益	1,971,234	1,813,692
営業外収益		
受取利息	5,052	5,095
受取配当金	7,375	7,790
その他	30,355	23,607
営業外収益合計	42,782	36,494
営業外費用		
支払利息	17,197	9,149
その他	11,986	7,735
営業外費用合計	29,184	16,885
経常利益	1,984,833	1,833,301
特別利益		
貸倒引当戻入額	545	4,767
固定資産売却益	29	153,852
特別利益合計	575	158,619
特別損失		
固定資産除却損	45,335	37,177
固定資産売却損	26,255	—
投資有価証券評価損	—	33,008
減損損失	160,941	29,664
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	451,828
特別損失合計	232,532	551,678
税金等調整前四半期純利益	1,752,875	1,440,242
法人税、住民税及び事業税	717,019	787,284
法人税等調整額	62,164	△138,603
法人税等合計	779,183	648,680
少数株主損益調整前四半期純利益	—	791,561
四半期純利益	973,692	791,561



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	23,199,350	23,884,426
売上原価	16,564,099	17,203,975
売上総利益	6,635,251	6,680,451
販売費及び一般管理費		
給料	2,111,416	2,123,218
賞与引当金繰入額	101,839	104,121
役員賞与引当金繰入額	5,735	5,760
退職給付費用	26,174	25,529
ポイント引当金繰入額	424,979	457,054
減価償却費	364,392	403,883
その他	2,837,607	2,852,683
販売費及び一般管理費合計	5,872,145	5,972,250
営業利益	763,106	708,200
営業外収益		
受取利息	1,686	1,533
受取配当金	2,070	2,212
その他	6,060	7,201
営業外収益合計	9,817	10,947
営業外費用		
支払利息	5,015	2,926
その他	2,836	2,585
営業外費用合計	7,852	5,512
経常利益	765,071	713,636
特別利益		
貸倒引当金戻入額	545	—
固定資産売却益	—	151,690
特別利益合計	545	151,690
特別損失		
固定資産除却損	40,779	9,038
固定資産売却損	26,255	—
特別損失合計	67,034	9,038
税金等調整前四半期純利益	698,582	856,287
法人税、住民税及び事業税	237,677	258,559
法人税等調整額	86,358	92,839
法人税等合計	324,036	351,398
少数株主損益調整前四半期純利益	—	504,889
四半期純利益	374,546	504,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,752,875	1,440,242
減価償却費	1,117,157	1,247,101
減損損失	160,941	29,664
賞与引当金の増減額(△は減少)	△322,551	△301,495
受取利息及び受取配当金	△12,427	△12,886
支払利息	17,197	9,149
たな卸資産の増減額(△は増加)	△570,551	△525,117
仕入債務の増減額(△は減少)	2,050,123	2,615,445
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	451,828
その他	574,855	447,194
小計	4,767,621	5,401,126
利息及び配当金の受取額	8,558	8,515
利息の支払額	△19,038	△7,125
法人税等の支払額	△940,051	△662,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,817,089	4,740,329
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,756,878	△606,608
敷金及び保証金の差入による支出	△29,584	△103,066
敷金及び保証金の回収による収入	27,177	52,212
その他	448,801	132,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,410,484	△524,489
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	320,000	△720,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
配当金の支払額	△293,814	△293,817
その他	△127,854	△229,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601,669	△1,043,095
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,804,936	3,172,744
現金及び現金同等物の期首残高	3,880,247	3,712,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,685,183	6,885,312

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。